

令和3年度 能美市総合教育会議 議事録

I 日 時 令和4年2月17日(木)

開会 15時00分 閉会 16時14分

II 場 所 能美市根上総合文化会館 小ホール

III 出席者

【構成員】

市 長	井出 敏朗
教育長	谷口 徹
教育長職務代理	南 俊博
教育委員	輪島 寿代
教育委員	徳野 伸彦
教育委員	竹崎奈津美

【教育委員会事務局】

管理局長、管理局次長兼教育総務課長、管理局次長兼学校教育課長  
教育総務課主査、学校教育課長補佐、まなび文化課長、まなび文化課主事  
スポーツ振興課長

【司会進行】

管理局次長兼教育総務課長

IV 内容

- 1 開会
- 2 市長挨拶

(市長)

教育委員の皆様方におかれましては、常日頃能美市の教育行政の振興に対しましてご理解とご協力を、また教育力の向上に対しましてご尽力をいただきまして心からお礼を申し上げたいと思います。

今日は、議題として3つ用意をさせていただきました。

1つ目の議題は、新型コロナウイルス感染症に関してでございますけれども、能美市の感染者が昨日までの累計で823名、1月に入りまして若年層の感染が広まっておりまして、小中学校を中心に休校や学級閉鎖等がございまして、たいへん厳しい状況が続いております。この教育行政を考えたときにやはり一番大切なのは児童生徒の健康であり、そして毎日笑顔で元気に学校に通ってもらうということが大切でございます。まずは、新型コロナウイルス感染症の状況を皆様方にご案内をし、そしてどんな対策をとっていくのかを協議をしていただければと思っております。また、子どもたちにとっては運動会や修学旅行が規模縮小する等、思い出が少ない状況も続いております。昨年は卒業アルバムの写真を描いたマグカップを卒業記念として送らせていただいております。子どもたちはたいへん喜んで受け取ったことを聞いております。今年度もマグカップの形やデザインを変えますけれども、何か思い出に残るようなことができればということで、今年度も予定をしております。新しいものができましたら、また皆様方にご覧いただければと思っております。このマグカップは九谷焼で、デザインは人気の九谷焼作家の牟田陽日さんです。大変素敵なものに出来上がっておりますので子どもたちもとっても喜んでくれるのではないかと考えております。

二つ目の議題は、GIGAスクール構想でございます。現在、能美市の児童生徒はすでにタブレットを1台ずつ持って授業をし、電子黒板も令和4年度中に全小中学校の教室に配置をする計画をしております。このGIGAスクール構想は、万が一学校が臨時休校になった場合に自宅で勉強が出来る貴重な装備でもありますので、授業の内容をさらに子どもたちに理解をしてもらえるようなものにしていくのか、今どんなことをやっているのかをご紹介をしたいと思いますと思っております。

三つ目の議題は、能美市の教育委員会は学校教育の他、文化スポーツの振興も担っております。そんな中で、令和5年度に石川県で国民文化祭が開催をされ、加賀立国1200年、令和6年春には北陸新幹線県内全線開業を迎えます。それらの千

載一遇のビッグチャンスをどう活かしていくのかという中で、その中心となるのが、能美ふるさとミュージアムであります。令和4年度に2周年を迎えるこの能美ふるさとミュージアムのいろいろな取り組みをご紹介をさせていただきたいと思っております。

限られた時間で盛りだくさんではありますが、どうか、慎重審議を賜り貴重なご意見をいただくことをお願いを申し上げ、冒頭の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い申し上げます。以上であります。

### 3 議題

(1) コロナ禍における能美市立学校の現状と対策

(2) 令和3年度能美市におけるGIGAスクール構想推進の取組と今後の課題

(事務局)

コロナ禍における能美市立学校の現状と対策について学校教育課長が説明

令和3年度能美市におけるGIGAスクール構想推進の取組と今後の課題について学校教育課長補佐が説明

(徳野委員)

能美市は井出市長の強力なリーダーシップの基に、県内でも早く市内の全学校そして児童生徒全員にクロームブックが行き渡ったと伺っております。私も学校訪問等でいろいろな活用の仕方を拝見させていただきました。辰口中学校では体育の柔道の時間に生徒がクロームブックを持って何をするのかと思いましたが、技を動画で撮って、先生の技と自分の技を比較していました。私の時代には、このようなものがなく非常に有効的な使い方をされて驚いた次第です。

質問が二つあります。一つ目は、持ち帰りのオンライン学習をされたときに、ご家庭にインターネット環境があるのかどうか。仮に環境が無いご家庭があった場合にどのような工夫をされているのか、二つ目は、教師間格差というところで、私の年齢以上の方で触ることに抵抗がある先生もいらっしゃると思います。先ほど説明がありましたGIGAリーダーが能力アップと触りたがらない先生方をどのように

されているのか例がありましたら、教えていただきたいと思います。

(学校教育課長)

一つ目のご質問の家庭でW i - F i 環境等が整っていない場合の説明をさせていただきます。中学校三年生で持ち帰りのオンライン学習を実施しましたが、家でうまく繋がらない、あるいは環境が無い生徒は、学校に来て授業を行えるという体制を整えました。ただ、3中学校で学校へ来て授業を受けた子は一人だけだったということです。W i - F i 環境を調べましたところ、携帯電話のテザリングの使用を含めると95パーセント以上の家庭が整っています。それでも繋がらない家庭に関しては、学校で学習の場所を作る、土日でしたら宿題に代わる内容のプリント等を用意し、先生が丁寧にみることによって、学習の質を上げることで運用をしております。以上でございます。

(学校教育課長補佐)

二つ目のご質問の教師間格差の防止について、G I G Aリーダーがしてきたことですが、説明の中で校内研修の充実と一言簡単にまとめていたのですが、充実の中には各校のG I G Aリーダーがいろいろな工夫をなされています。特に抵抗感のある先生は、簡単なことを何度も質問することが恥ずかしいということがあると思います。研修で1回で覚えることは誰でも難しいことで、個別のニーズに応じた短時間の希望制の研修を予約をとって、I C Tサポーターの空いている時間にコミットさせて個人個人が自分のペースで学びを進められる工夫をしました。そうすることで、各先生方が自分のスキルとスピードに応じ、力を付けることができたことが確認されています。もう一つ私が実感していることは、能美市の先生は子どもとの関係がとてもよいです。先生が苦手だとバカにするのではなく、先生こうできるのではと子どもと一緒にスキルを身に付けてきたのではないかと予想されます。三つ目は子どもたちが将来、こういった環境がないと力をつけてあげなければということを理解していただくことです。市教育委員会の研修会を通じて根っこの部分であるところを今年度も根気強くお伝えし頑張っておりました。絶対しないという先生は必ずではありませんがほとんどいないと思っております。以上でございます。

(徳野委員)

ありがとうございました。寺井中学校の社会学習で私の会社とオンラインで繋いで会社紹介をさせていただきましたが、子どもたちは覚えることが早いです。抵抗感がある先生方と無い先生で授業内容に差がつくとよくないと思いました。次にインターネット環境ですが、石川県の教育委員会の集まりがあり、能登の方はインターネットが繋がりにくく、持ち帰りのオンライン学習をあまりしていないとのことで地域間格差があることと、インターネット環境が無いご家庭はいじめ等に繋がるとよくないと思い質問させていただきました。

(南委員)

いろいろなICTを活用した教材の使い方ということで、JMOCの体系は有効と予想しています。先生方にJMOCの考え方を知っていただければよいと思います。

(学校教育課長)

南委員が言われましたことを参考にさせていただきまして、現場の声を集めたり、効率よく体系化を整えたりという部分を勉強していかなければいけないと思いました。ご提案ありがとうございます。

(竹崎委員)

ICTサポーターの効果的な活用についてですが、サポーターは遠隔ヘルプデスクではなくて、学校にいらっしゃるということでしょうか。

(学校教育課長補佐)

ICT支援員は学校に1日在籍しております。各教室からICT端末を使用して授業をするため、学習支援ソフトを操作するときの子どものサポート、つまづいた時に時間が中断して無駄にならないように先生をサポート、効果的に授業を組み立てるために、どのように使用したらよいのか打合せをするなど、支援していただいています。

スクールサポーターは、設備の不具合や機械の故障などについて対応する支援員となっております。毎週火曜日に市教育委員会と要請があれば学校に来ていただいでい

ます。基本はコールセンターに問い合わせをしサポートをしていただいています。

(輪島委員)

学校訪問で、各学校 I C T を利用されていて驚きました。低学年の子どもたちも抵抗なく端末を操作していて、更にびっくりしました。ただ、参加しない子どもたちへの対応に少し課題があるように思いました。先ほど徳野委員さんが言われたように、年配の先生方は I C T を活用することはとても大変だと思いますが、先生へのサポート体制をしっかりしていただきたいと思いました。

(学校教育課長)

先ほど説明した、I C T 支援員は月 4 回から 5 回の程度の配置で、県内随一の配置で大変手厚い予算で、先生方を支援していただいております。

(3) 能美ふるさとミュージアム

いしかわ百万石文化祭 2 0 2 3、加賀立国 1 2 0 0 年、北陸新幹線県内全線開業  
を見据えた取り組み

(事務局)

能美ふるさとミュージアム

いしかわ百万石文化祭 2 0 2 3、加賀立国 1 2 0 0 年、北陸新幹線県内全線開業  
を見据えた取り組みについて、まなび文化課主事が説明

(南委員)

ミュージアムのイベントで親と子のタイアップ企画もよいですが、これからプログラミング教室も進んでくると思いますので、Scratch 等を使ったプログラミングでイベントの開催をしてはいかがでしょうか。

(まなび文化課主事)

貴重なご意見ありがとうございます。市民参加型のイベントとして参考にさせていただきます。

(竹崎委員)

遠足としての活用ですが、石川県は芝政やエンゼルランド等行き先が決まっています。近県の園児の遠足の場として呼び込むのはとてもよいと思います。そのためには大型バスが何台か止められる駐車場の整備と、遊具があること、屋外で食べられる広い場所が必要だと思います。

(まなび文化課主事)

ご意見ありがとうございます。遠足としての活用で能美古墳群ふるさと歴史の広場は人気があります。今後、遊具のリニューアルと、猛暑の日やゲリラ豪雨を避けられる大きめのシェルターの設置を計画しており、広く活用していただければと思っています。

(徳野委員)

コロナ禍で旅行会社さんもマイクロツーリズムを再認識してはどうかということで、県内や北陸3県の学校で修学旅行や遠足で能美市に来ていただけるよう、辰口温泉などの宿泊施設とタイアップしたらよいのではないのかと思いました。二つ目ですが、コロナ禍のスタートでいろいろとご苦労があったと思いますが、当初の目標入館者数に対して現状はどうなのかと課題があれば教えていただければと思います。

(まなび文化課主事)

市内の他の施設と一体的な活用を図っていただけるように、県内の小学校中学校に一体的なコースの紹介やおすすめをさせていただいております。来館者数に関してですが、残念ながら目標数値には届きませんでした。コロナ禍の中で現時点で45,851人の方にご来館いただいております。県内のある市立博物館は1万人に遠く及ばない来館者ということであれば、かなり多くの方にご来館いただいているということになります。この勢いを活かして一度来た方にもう一度来ていただける、何度でもお越しいただけるような魅力をさらに磨いていきたいと考えております。

(徳野委員)

私も能美ふるさとミュージアムに行きましたが、九谷焼のウルトラマンの展示のイ

ベントを開催していてとてもよいと思いました。今後も発信的なことを是非頑張っていたいただければと思います。ありがとうございました。

(市長)

いろいろとご提案ご指摘をいただきましてありがとうございます。1番目2番目の議題に関してましては、学校現場の職員や先生方がとてもがんばっていただいていることが実態であります。新型コロナウイルス感染症に関してはマニュアルのチェックシートを整備して毎日教頭先生がリーダーとなって担任の先生とともに各教室の換気の状態や児童生徒の状態をチェックしてくれていて、不具合があった場合は校長先生に報告し、すぐに対策をとることを徹底しております。そのような中で、子どもたちは安全安心そして健康に毎日学校に来て頑張っているのが実態であります。GIGAスクール構想に関しましても、先ほど説明があったように8小学校3中学校が一致団結して取り組んでいるということでもあります。例えば理科の授業一つにとっても小学校には6学年、中学校には3学年あります。8小学校に3中学校があります。各小中学校がバラバラだといけないということで、全員が共有し合って前向きに捉えるようにしていく、また少し遅れているような授業があれば、その課題を全員が共有して、全員で解決していくということを、毎日一生懸命に取り組んでくれているからこそ、現在の能美市のGIGAスクール構想の実態があるのではないかと考えています。また、私が先生方をお願いをしていることはGIGAスクール構想は、他の学校や他の県と同じようなことではなく、能美市らしい能美市オリジナルのGIGAスクール構想にぜひ取り組んでほしいということでもあります。

能美ふるさとミュージアムに関しましては、年間の入館者目標数は10万人でした。ただ、新型コロナウイルス感染症対策の影響で、先ほどの人数にとどまっていますが、学芸員が説明しましたが、何度でも訪れてもらえるように季節ごとに模様替えをしてくれていたり、ギャラリーでは魅力ある展示を開催したり、館外でもいろいろなイベントをすることで、ミュージアムの魅力だけではなく、別の魅力もだしながらミュージアムに来て楽しんでいただいて、そして何度でも訪れてもらえるように工夫をしているのが実態であります。

今日はいろいろとご指摘ご提案をいただいたことに改めて感謝を申し上げまして、

引き続き、能美市教育委員会一丸となって児童生徒たちのために努力してまいりますので、ご理解ご協力を賜れば幸いです。本日はどうもありがとうございました。

#### 4 教育長閉会挨拶

(教育長)

本日は長時間にわたってご協議ご審議いただきましてありがとうございました。新学習指導要領の中に「主体的・対話的で深い学び」がキーワードとして入っています。私はこの言葉は自ら意欲的に学び、友達とともに協力してもらい、そして広く深く学んでいくという言葉として受け止めているわけですが、これを実現するのは間違いなく一人一台のタブレット端末や大型電子黒板になると思っています。能美市には子どもたちの学ぶ環境をしっかりと整えていただいていることに心から感謝を申し上げます。能美市のGIGAスクール構想は整備導入の段階から1年目の利活用の段階を経て、確実な歩みを進めていると思っております。今後はより良い実践をさらに市内全体に定着をさせていくことが教育委員会の仕事だと受け止めています。そのために教員へのサポート体制づくりや、コロナの終息が見えない中ではございますが、子どもたちに安全安心の中で学びを保証するための有効な活用を考えていきたいと思っております。引き続きご支援をお願いします。

次に、能美ふるさとミュージアムについては、多くの市民の皆様にご利用いただいているわけですが、今後、令和5年の国民文化祭、加賀立国1200年、北陸新幹線県内全線開業とさまざまな節目が巡ってくるわけですが、更に能美ふるさとミュージアムに磨きをかけることが大切だとしっかり受け止めました。

私なりにご協議いただいた内容を整理してみました。一つ目は自分や家族、祖先を育んだ能美の人と風土を見直し、ふるさと愛を醸成する施設、二つ目は地域の宝を預かり、保存し、後世に伝えていく施設、三つ目は能美という地域が持っている文化力、能美の魅力をその他の地域に広めていく施設、四つ目は未来を創造する施設、時代が求める施設として魅力をかけていかなければならないと受け止めました。地元の子どもたち、生活する人、移住してきた人、能美で働く人、市内外や外国から能美を訪れた人、その立場に立って、関係機関や団体と連携し、それぞれの立場

の人が考えて、わくわくするような博物館づくりができるのではないかと考えながら聞いていました。「連携」というキーワードで更なるブラッシュアップを考えていきますので、この点も引き続きご支援のお願いをいたしまして、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

## 5 閉 会

16時14分終了